

講演

## 踊る身体の前ティア —窮地のインスピレーション—

日本女子体育大学 若松 美黄

### 1. 問題

微妙な身体運動が課されているダンサーにとって、運動を統御することは、容易ではない。ダンサーが、所与の身体プログラムを完遂出来たとしたら、どのように稽古量を重ねたとしても神の手助けがあったか、あるいは、偶然の出来事が手助けしたに違いない。能では「完全に（統御して）橋掛かりまでたどり着いたら死んでも良いという方々がたくさん居る」（山本東次郎）。どれほど稽古を積み重ねても、本舞台の観客は一度しかなく、踊り手の、その時も二度とない。

ダンスの発現は、古代においては、危機時に現れる緩和的情動反応と総括できるだろう。心身の異常事態にカウンターとして発生し、最適覚醒を生起させる生理反応なのだ。したがって、ダンスは本来、心身の前ティアの現出であった。しかし、そのダンスも時代とともに、娯楽化、肥大化してくる。真摯な舞台人にとっては、伝統や口伝のなかに、道を見出し、あるいは、心身一如の技法化にも転化していくのであろう。

統御が及びにくい状態を、前ティアとして現代に問題設定する典型には、ダンサーにとっての危機時、つまり怪我を押して舞台に立つことを含む。実演の立場の重要なポイントは、思想や趣向と同等に、場の現実的選択が課されていることである。怪我・病などの条件下で、窮地のインスピレーションが発現し、作品のほころびを最小限にすることも可能である。

### 2. 窮地の体験例

舞台は、総合的な集積であり、踊り手もまた、創作する。所与の現実から絶えざる選択を強いられ、創意工夫を行っている。以下、主観的なものではあるが、怪我による事例を挙げてみたい。

#### 1) 三つの事例

① 風邪で、40度以上の高熱を出し舞台に立ったことが3度あった。はじめは1978年「ひな人形」で、朦朧として終わった。その経験を踏まえて、以来2度、いずれの舞台も、内観では、熱のため切れ目の無い一本の糸を引くような意識が、自然に起こり、通常は容易ではない持久感が起こった。体内の細胞を動く水を感じた。

② リハーサル期間に骨折したダンサーがあり、代役も間に合わず、骨折を利用して松葉杖を活用、上がる方の脚で横に保持させ、不思議な景になっ

た（金田尚子「旅ねずみの行進」1989）。捻挫で踏みたてられなくなった男性舞踊手（松原秀種「美しき嘘」1988）に松葉杖を利用し、女性のリフトを完成させたこともある。これは窮地を「趣向」に転化した解決策でもあった。

③ 下腹部タテに13センチ手術、2週間入院、31日後の本番（「ウエルナー症候群の人形」舞踊作家協会・パートナー：高瀬譜希子2004年）は、退院後、2週間目からリハーサル開始。腹筋に力が入らず、しゃがむと立ち上がれない。ティアラ江東の大理石張りの柱に身体を擦り付け上下動を反復し、動作をカバーするとともに、メタファーとして古事記の柱周りを暗示し、解決。

#### 2) 足指の傷

レスキスなどで活躍したユタカ・タケイ君とパリで話したことがある。当時、私は、ガリリ舞踊団と長期ツアーをし（2000年）足指を痛め、踏みたてると血が出た。舞台袖までスリッパで歩き、本舞台は裸足にテープのみとした。跳躍が求められ、反復すると苦痛が倍加した。

ヨーロッパの地方劇場では、床が荒れて、裸足に対応していない。ユタカによると、バリオペラ座付属・現代舞踊団の巡業も、野外のステージが多く、皆、足に傷を負うという。痛みの少ない踊り方を身に付ける必要があった。無駄な力を排除し、中心線を知覚することで、平凡だが、基本に返ることを学んだのである。

### 3. 考察

ダンスは、小脳で設計したデザインを、神経細胞で骨格筋に伝達するが、延髄の垂体路系を通るデザイン部分と、それを身体機能と調整する垂体外路系がある。この兼ね合いは、習得が容易ではない。そのほかに、反射系の運動神経回路がある。これは、末端部位の関与する大筋に神経ループをつくり緊急の事態に対応しているものだ。

モノとしての身体は、微量な感覚受容器の変動に対応する。そのなかには、感じかた、考え方の差異もあり、それぞれ個別に敏感に反応するため、統御は容易ではない。

怪我や病の障害により、別な回路を使用したり、痛みを読み込んで反応を表現に変えたり、コンセプトを変えたり、創意工夫で多様な態様が出来る。これらの前ティアの現われは、三種類ある。1 創意工夫型、2 合理調整型、3 伝統回帰型である。三つの事例①は合理調整型、②③は創意工夫型、そして2)は伝統回帰型であろう。

前ティアもまた一様ではない。自身のダンサーは、絶えず、現実状況を把握し、絶えざる評価の目を潜り抜け、現実的な可能性を最高度に追求することを条件つけられているものである。（ビデオは、点滴柱と踊る情景「無芸至芸」2004）